



# TÜRKIYE × HONJO

## いつか会えるその日まで。

トルコ共和国  ×  埼玉県本庄市

### 本庄ホストタウン物語



- 第一章 希望を胸に...**  
 盲目の国学者・塙保己一誕生の地である本庄市は、2018年12月、トルコ共和国のホストタウンに登録されました。東京2020パラリンピック競技大会に向けて、5人制サッカー（ブラインドサッカー）トルコ共和国代表チームの事前キャンプ地として準備を進めました。2019年9月、東京大会の予選であるヨーロッパ選手権に合わせて、有志20人で応援団を結成。会場となるイタリア・ローマへ駆けつけました。
- 第二章 まさかの予選敗退!**  
 結果は思いもよらない敗退。肩を震わせる選手たち...事前キャンプの夢は消えました。「本庄に行くことが叶わなくなったのは、自分たちのせいだ。ごめんね、ごめんね」と、精一杯戦った選手たちが何ども何度も私たちに謝りました。泣かないで友よ、Birlikteyiz（心は共にある）!
- 第三章 それでも続けた交流事業**  
 予選を敗退しても、トルコ共和国のホストタウンであることに変わりはありません。その後も、情報発信を積極的に行っていました。市内の小学生がブラインドサッカーの選手やトルコ大使館へ手紙を送ったり、ブラインドサッカーの体験教室を開催したり、応援動画を作成するなど交流事業をしっかりと継続しました。中でも、北澤豪氏を招いた体験教室はNHKワールドJAPANでも紹介されました。特に、このギャザリングアートは、トルコを応援する心をみんなの笑顔で表現しています。その数1,000人以上。まちなかの商店街、市内のスポーツ団体や小学生などのほか、トルコ大使館にも全面協力をいただき、トルコへの気持ちが形になりました。
- 第四章 新たな幕開け**  
 こうした取り組みが結び、2021年1月20日、トルコ共和国テコンドー協会とMOU(覚書)を締結しました。トルコ共和国はパラテコンドーの強豪国です。今夏、代表選手団がいよいよ本庄にやってくる。今後も共生社会ホストタウンとして、人的、文化的、経済的交流を進め、東京大会に出場するトルコ共和国のすべての選手を応援します。出場が叶わなかったブラインドサッカーチームの選手も熱い思いと共に。

## ホストタウン応援コラム Vol.23




### 共生社会ホストタウンに登録されました

盲目の国学者・塙保己一の生誕の地である本庄市は、障害者と健常者との「共生のまちづくり」を目指してきました。市民主導により「ロビジョンフットサル」日本代表チームを支援してきたこともあり、パラリンピック競技である5人制サッカーの事前キャンプ地誘致に取り組み、トルコ共和国のホストタウンに。以降、トルコ共和国との交流やパラスポーツの体験教室などを実施してきました。



こうした活動を続け、2月26日、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部により、パラリンピアンへの受入れを契機として共生社会の実現に向けてユニバーサルデザインのまちづくり及び心のバリアフリーの取り組みを実施する「共生社会ホストタウン」に登録されました。

◀ブラインドサッカー体験教室

今後の活動計画は、をご覧ください▶



### パラテコンドー選手団が本庄で事前合宿

5人制サッカートルコ共和国代表チームは、惜しくも東京大会の出場権を逃してしまいましたが、これまでの交流が実を結び、本庄市とトルコテコンドー協会、早稲田大学の3者により、本市で事前合宿を実施する覚書を1月20日に締結しました。



オンラインで3者の覚書を締結

「パラテコンドー」は東京大会から新たに加わった種目で、腕に障害がある選手が足だけで攻撃する競技です。階級は男女とも3階級ずつで、その全ての階級にトルコ共和国代表選手の出場が決まっており、パラテコンドーの強豪国としてメダル獲得が期待されています。



パラテコンドートルコ代表選手団

パラテコンドーのトルコ共和国代表選手の紹介、パラテコンドーのルールなどは次号以降でお知らせします。

### みんなの笑顔で『ホストタウンポスターコンテスト』全国1位に

ポスター（左ページ）のモチーフとなった「ギャザリングアート」は、国籍、性別や障害の有無などを超え、みんなで共生社会を表すというコンセプトで1,000人を超える市民や大使館職員などの笑顔で構成。中央にトルコ共和国国旗の三日月と星、はにぼん、四隅には目玉を連想させるトルコのお守り「ナザールボンジュウ」を配しています。ポスターは、「ホストタウンサミット2021」のポスターコンテストにおいて、全国1位を受賞。ご協力ありがとうございました。

また、これまでの情報発信の取り組みが評価され、「優良情報発信賞」（特別賞）も受賞しました。

ギョルシュルズ！（またね！）

★オリンピック・パラリンピック支援室 ☎25-1615